

みずほマーケット・トピック (2016 年 10 月 14 日)

週末版

内容 1. 為替相場の動向

2. 来週の注目材料

※誠に恐れ入りますが、7～14 日まで休暇のため、「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。

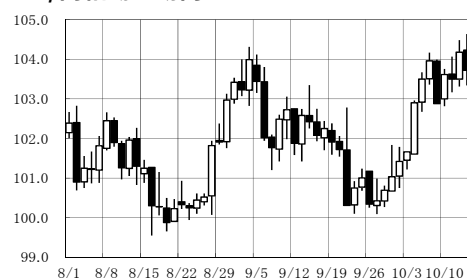
1. 為替相場の動向 (関連レポート: 「みずほ Customer Desk Report」, 「今週の為替相場見通し」)

- ・今週のドル/円相場は揉み合う展開。週初 10 日、103 円台近辺でオープンしたドル/円相場は、前週末の米 9 月雇用統計が弱含んだこともあり、徐々に上値を切り下げて一時週安値となる 102.81 円まで下落。その後、原油価格の上昇や欧州株の堅調推移を背景にクロス円が上昇すると、103 円台後半まで上値を切り上げた。翌 11 日も前日の流れを引き継ぎ日経平均株価が堅調推移する中、ドル/円も 104 円台前半まで連れ高に。しかし、EU 単一市場へのアクセスを伴わない英国の EU 離脱(Hard Brexit)懸念によりポンド/円やユーロ/円が下落したことや米 9 月労働市場情勢指数の悪化を嫌気すると、ドル/円は 103 円台前半まで下落した。12 日は原油安を背景に、ドル/円は 103 円台半ばで上値重く推移するも、FOMC 議事要旨の発表を控え、年内利上げに前向きな内容が見られるとの期待感からドル買い優勢となり、ストップロスを巻き込みながら 104 円台半ばまで上昇。13 日にかけても前日の流れを引き継ぎドル買い地合いが継続したほか、日経平均株価の堅調推移を背景に、ドル/円は一時週高値となる 104.63 円まで上昇した。しかし、中国 9 月貿易統計の落ち込みを受けたリスク回避姿勢の強まりや NY ダウ平均が軟調となったことで、ドル/円は 103 円台前半まで下落した。本日にかけては、今晚にイエレン FRB 議長の講演を控え、ドル/円は 103 円台後半での底堅い推移が継続している。
- ・今週のユーロ相場は下落する展開。週初 10 日、1.11 台後半でオープンしたユーロ/ドルは一時週高値となる 1.1205 をつけるも、東京、NY 市場が休場となる中で、ドル買い優勢地合いの展開に 1.11 台後半で底堅い推移が継続。11 日は、Hard Brexit への懸念が燃える中で、ユーロ/ドルは 1.10 台半ばまでじりじりと値を下げた。12 日には FOMC 議事要旨の発表への期待感からドル買い優勢地合いになると、ユーロ/ドルは 1.10 ちょうど近辺まで下落。13 日にかけてもドル買い優勢地合いが継続する中、ユーロ/ドルは一時週安値となる 1.0985 まで下落する場面も見られたが、その後は米金利が低下すると、1.10 台後半までじりじりと上昇。本日にかけても、ユーロ/ドルは 1.10 台半ばで方向感に欠ける値動きとなっている。

今週のおもな金融市場動向 (出所: ブルームバーグ、みずほ銀行)

		前週末	今 週				
		10/7(Fri)	10/10(Mon)	10/11(Tue)	10/12(Wed)	10/13(Thu)	
ドル/円	東京9:00	103.77	103.04	103.71	103.33	104.30	
	High	104.00	103.78	104.07	104.49	104.63	
	Low	102.86	102.81	103.17	103.28	103.34	
	NY 17:00	102.88	103.62	103.52	104.18	103.72	
ユーロ/ドル	東京9:00	1.1143	1.1193	1.1140	1.1058	1.1011	
	High	1.1205	1.1205	1.1142	1.1068	1.1058	
	Low	1.1105	1.1131	1.1049	1.1004	1.0985	
	NY 17:00	1.1200	1.1138	1.1054	1.1006	1.1056	
ユーロ/円	東京9:00	115.63	115.40	115.55	114.27	114.86	
	High	115.90	115.73	115.79	115.16	115.12	
	Low	115.06	115.09	114.02	114.06	113.92	
	NY 17:00	115.29	115.53	114.38	114.71	114.68	
日経平均株価		16,860.09	-	17,024.76	16,840.00	16,774.24	
TOPIX		1,350.61	-	1,356.35	1,342.35	1,342.31	
NYダウ工業株30種平均		18,240.49	18,329.04	18,128.66	18,144.20	18,098.94	
NASDAQ		5,292.41	5,328.67	5,246.79	5,239.02	5,213.33	
日本10年債		-0.06%	-0.06%	-0.05%	-0.06%	-0.06%	
米国10年債		1.72%	1.72%	1.76%	1.77%	1.74%	
原油価格(WTI)		49.81	51.35	50.79	50.18	50.44	
金(NY)		1,251.90	1,260.40	1,255.90	1,253.80	1,257.60	

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- ・ 欧州では、20 日(木)に ECB 理事会が開催される。6 日(木)に公開された ECB 議事要旨(9 月 8 日開催分)では、インフレ率が上昇する明確な兆しはないとしたほか、市場が予想するインフレ率(5 年先 5 年物インフレスワップ、5 年 5 年 BEI)が歴史的な低水準に落ち込んでいることを「注意深く見守る」としており、物価の下振れを警戒していることが示された。また、金融緩和策については、物価安定のために必要なら「更なる措置を採用する強い意思が理事会にはある(great emphasis had to be placed on the Governing Council's willingness, capacity and ability to act)」と追加緩和に前向きな姿勢を見せている。なお、拡大資産購入プログラム(APP)の現行期限(2017 年 3 月末)について、必要であれば延長することを示唆した(run until the end of March 2017, or beyond, if necessary)。前回理事会後も、ユーロ圏消費者物価指数(HICP)は低い伸びが続いており、また期待インフレも大きく高まっていない。そのため、今回の理事会では APP の各種パラメーター(33%ルール、購入可能下限金利など)がより緩和的な方向に修正されるほか、2017 年 3 月末という期限も 2018 年 3 月末に延長されると見る。このほか、17 日(月)にユーロ圏 9 月 HICP(確報値)、21 日(金)にユーロ圏 10 月消費者信頼感の発表が予定されている。また、20 日(木)～21 日(金)に EU 首脳会談が開催される。
- ・ 米国では、19 日(水)に米大統領候補による第 3 回テレビ討論会が開催される。トランプ氏の女性蔑視発言が報道されたことを受け、同氏は無党派層を中心に支持を失ったと報じられている。また、共和党のライアン下院議長が「大統領選よりも、同日に行われる議会選挙で過半数を取得することに専念する」と発言するなど、共和党内でも同氏を見放す動きが見られた。こうした中、9 日に開催された第 2 回討論会では、劣勢を跳ね返したいトランプ氏がクリントン氏に対し激しい個人攻撃をする展開となった。しかしながら、形勢は変わらず、米 CNBC の調査によればクリントン氏が 1 回目に続き優勢となっている。3 回目の討論会でも、トランプ氏が余程うまく立ち回らない限り、クリントン氏がリードする展開は変わらないだろう。このほか、17 日(月)に 9 月鉱工業生産指数、18 日(火)に 9 月消費者物価指数(CPI)、19 日(水)に地区連銀経済報告(バーヂュブック)、20 日(木)にフィラデルフィア連銀景況感指数の発表が予定されている。また、FRB 高官発言では、19 日(水)にウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁の講演が行われる。
- ・ 本邦では、17 日(月)に 8 月鉱工業生産指数(確報値)、及び地域経済報告(さくらレポート)、20 日(木)に 9 月工作機械受注(確報値)の発表が予定されているほか、21 日(金)には黒田日銀総裁の講演が行われる。

	本 邦	海 外
10 月 14 日(金)	—————	・米 9 月小売売上高 ・米 9 月生産者物価 ・米 8 月企業在庫 ・米 10 月ミシガン大学消費者マインド(速報) ・ユーロ圏 8 月貿易収支
17 日(月)	・8 月鉱工業生産(確報)	・米 10 月ニューヨーク連銀製造業景気指数 ・米 9 月鉱工業生産(速報) ・ユーロ圏 9 月消費者物価(確報)
18 日(火)	—————	・米 9 月消費者物価 ・米 8 月 TIC レポート(対内対外証券投資)
19 日(水)	—————	・米 9 月住宅着工 ・米バーヂュブック
20 日(木)	—————	・米 9 月中古住宅販売 ・米 9 月景気先行指数 ・米 10 月フィラデルフィア連銀製造業景気指数 ・ユーロ圏 8 月経常収支 ・ECB 理事会(フランクフルト) ・EU 首脳会議(～21 日、ブリュッセル)
21 日(金)	—————	—————

【当面の主要行事日程(2016 年 10 月～)】

日銀金融政策決定会合(10 月 31～11 月 1 日、12 月 19～20 日、2017 年 1 月 30～31 日)
 米 FOMC(11 月 1～2 日、12 月 13～14 日、2017 年 1 月 31～2 月 1 日)
 ユーロ圏財務相理事会・EU 経済・財務相理事会(11 月 7～8 日、ブリュッセル)
 米大統領議会選挙(11 月 8 日)
 ECB 理事会(12 月 8 日、2017 年 1 月 19 日、3 月 9 日)

国際為替部

チーフマーケット・エコノミスト

唐鎌 大輔 (TEL:03-3242-7065)

daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

経済指標カレンダー (2016年10月)

月		火		水		木		金		週末	
3 日本 日銀短観 (9月調査) 日本 自動車販売台数 (9月) 米国 建設支出 (8月) 米国 ISM製造業景況指数 (9月)		4 日本 マネタリーベース (9月)		5 米国 ADP雇用統計 (9月) 米国 貿易収支 (8月) 米国 ISM非製造業景況指数 (9月) 米国 製造業新規受注 (8月) 米国 耐久財受注 (確報、8月)		6 ドイツ 製造業受注 (8月) G20財務大臣・中央銀行総裁会議(ワシントンD.C.)		7 日本 景気動向指数 (速報、8月) 日本 毎月勤労統計 (8月) 米国 雇用統計 (9月) 米国 卸売売上高 (確報、8月) 米国 消費者信用残高 (8月) ドイツ 鉱工業生産 (8月) IMF世銀・年次総会 (～9日、ワシントンD.C.)			
10 日本 体育の日 ユーロ圏 財務相会合 (ルクセンブルク) ドイツ 貿易収支 (8月)		11 日本 景気ウォッチャー調査 (9月) 日本 企業倒産件数 (9月) 米国 労働市場情勢指数 (9月) 米国 *財政収支 (9月) ユーロ圏 EU経済・財務相理事会 (ルクセンブルク) ドイツ ZEW景況指数 (10月)		12 日本 機械受注 (8月) 日本 国際収支 (8月) 米国 FOMC議事要旨 (9月20～21日開催分) ユーロ圏 鉱工業生産 (8月)		13 日本 貸出・預金動向 (9月) 日本 第三次産業活動指数 (8月)		14 日本 マネーストック (9月) 日本 国内企業物価 (9月) 米国 小売売上高 (9月) 米国 生産者物価 (9月) 米国 企業在庫 (8月) 米国 ミシガン大学消費者マインド (速報、10月) ユーロ圏 貿易収支 (8月)			
17 日本 鉱工業生産 (確報、8月) 米国 ニューヨーク連銀製造業景況指数 (10月) 米国 鉱工業生産 (速報、9月) ユーロ圏 消費者物価 (確報、9月)		18 米国 消費者物価 (9月) 米国 米TICレポート(対内対外証券投資、8月)		19 米国 住宅着工 (9月) 米国 ページブック		20 米国 中古住宅販売 (9月) 米国 景気先行指数 (9月) 米国 フィラデルフィア連銀製造業景況指数 (10月) ユーロ圏 経常収支 (8月) ユーロ圏 ECB理事会 (フランクフルト) ユーロ圏 EU首脳会議 (～21日、ブリュッセル)		21			
24 日本 貿易収支 (9月) 日本 景気動向指数 (確報、8月) ユーロ圏 製造業PMI、サービス業PMI(10月)		25 米国 S&Pコアロジックケース・シラー住宅価格 (8月) 米国 消費者信頼感指数 (10月) ドイツ IFO企業景況指数 (10月)		26 日本 企業向けサービス価格 (9月) 米国 新築住宅販売 (9月)		27 米国 耐久財受注 (速報、9月)		28 日本 労働力調査 (9月) 日本 全国消費者物価 (9月) 日本 東京都都区消費者物価 (10月) 日本 家計調査 (9月) 米国 雇用コスト (7～9月期) 米国 GDP(1次速報、7～9月期) 米国 ミシガン大学消費者マインド (確報、10月)			
31 日本 日銀金融政策決定会合 (～11月1日) 日本 鉱工業生産 (速報、9月) 日本 商業販売統計 (9月) 日本 住宅着工 (9月) 米国 個人所得・消費 (9月) 米国 シカゴ購買部協会景況指数 (10月) ユーロ圏 GDP(速報値、7～9月期)											

[注] *を付したものは公表予定が未定であることを示す。
[資料] ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

経済指標カレンダー (2016年11月)

月		火	水	木	金	週末
		1 日本 金融政策決定会合・展望 (基本的見解) 日本 自動車販売台数 (10月) 米国 FOMC (~2日) 米国 ISM製造業景気指数 (10月) 米国 建設支出 (9月)	2 日本 マネタリーベース (10月) 米国 ADP雇用統計 (10月)	3 日本 文化の日 米国 労働生産性 (速報、7~9月期) 米国 ISM非製造業景気指数 (10月) 米国 製造業新規受注 (9月) 米国 耐久財受注 (確報、9月) ユーロ圏 失業率 (9月)	4 米国 雇用統計 (10月) 米国 貿易収支 (9月)	
7 日本 金融政策決定会合議事要旨 (9月20~21日開催分) 日本 毎月勤労統計 (9月) 米国 労働市場情勢指数 (10月) 米国 消費者信用残高 (9月) ユーロ圏 財務相会合 (ブリュッセル) ドイツ 製造業受注 (9月)	8 日本 景気動向指数 (速報、9月) 日本 *企業倒産件数 (10月) 米国 大統領選挙、議会選挙 ユーロ圏 EU経済・財務相理事会 (ブリュッセル) ドイツ 鉱工業生産 (9月) ドイツ 貿易収支 (9月)	9 日本 国際収支 (9月) 日本 貸出・預金動向 (10月) 日本 景気ウォッチャー調査 (10月) 米国 卸売売上高 (9月) 米国 卸売在庫 (確報、9月)	10 日本 金融政策決定会合による主な意見 (10月31~11月1日開催分) 日本 機械受注 (9月) 日本 マネーストック (10月) 米国 財政収支 (10月)	11 日本 第三次産業活動指数 (9月) 日本 国内企業物価 (10月) 米国 ミシガン大学消費者マインド (速報、11月)		
14 日本 GDP(1次速報、7~9月期) 日本 鉱工業生産 (確報、9月) ユーロ圏 鉱工業生産 (速報、9月)	15 米国 ニューヨーク連銀製造業景気指数 (11月) 米国 小売売上高 (10月) 米国 企業在庫 (9月) ユーロ圏 貿易収支 (9月) ユーロ圏 GDP(速報、7~9月期) ドイツ ZEW景況指数 (11月) ドイツ GDP(速報、7~9月期)	16 米国 生産者物価 (10月) 米国 鉱工業生産 (10月) 米国 TICレポート (対内対外証券投資、9月)	17 米国 住宅着工 (10月) 米国 消費者物価 (10月) 米国 フィラデルフィア連銀製造業景気指数 (11月) ユーロ圏 消費者物価 (確報、10月)	18 米国 景気先行指数 (10月) ユーロ圏 経常収支 (9月)		
21 日本 貿易収支 (10月)	22 米国 中古住宅販売 (10月)	23 日本 勤労感謝の日 米国 耐久財受注 (速報、10月) 米国 新築住宅販売 (10月) 米国 ミシガン大学消費者マインド (確報、11月) 米国 FOMC議事要旨 (11月1~2日開催分) ユーロ圏 製造業PMI、サービス業PMI	24 日本 景気動向指数 (確報、9月) ドイツ GDP(確報、7~9月期) ドイツ IFO企業景況指数 (11月)	25 日本 全国消費者物価 (10月) 日本 東京都都区消費者物価 (11月) 日本 企業向けサービス価格 (10月) 米国 卸売在庫 (速報、10月)		
28	29 日本 労働力調査 (10月) 日本 家計調査 (10月) 日本 商業販売統計 (10月) 米国 GDP(2次速報、7~9月期) 米国 S&P/コアロジックケース・シラー住宅価格 (9月) 米国 消費者信頼感指数 (11月)	30 日本 鉱工業生産 (速報、10月) 日本 新設住宅着工 (10月) 米国 ADP雇用統計 (11月) 米国 個人消費・所得 (10月) 米国 PCEコアデフレーター (10月) 米国 シカゴ購買部協会景気指数 (11月) ユーロ圏 消費者物価 (速報、11月)				

[注] *を付したものは公表予定が未定であることを示す。
[資料] ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です
<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html>

発行年月日	過去6か月のタイトル
2016年10月7日	週末版
2016年10月5日	ECBのテーパリング観測～予想すべきは真逆の方向～
2016年10月4日	世界にとつてのテールリスクとなる「欧州の潔癖主義」
2016年10月3日	外貨準備構成通貨の現状 (2016年6月末時点)
2016年9月30日	週末版
2016年9月27日	ユーロ圏の与信、物価、為替に関する状況整理 本邦個人投資家の対外資金フロー動向 (2016年8月分)
2016年9月26日	ハードルが上がった日銀の追加緩和
2016年9月23日	週末版 (日米金融政策決定会合を終えて～確度が強まる円高見通し～)
2016年9月20日	米大統領選挙と為替相場に対する考え方について
2016年9月16日	週末版(「日銀相場」の活かし方～断ち切られた株と為替のリンク～)
2016年9月15日	G4通貨の調整状況～懸念されるドル安不足～
2016年9月14日	日銀会合プレビュー～「量」との決別。金利への転進」～
2016年9月13日	ブレナード講演を終えて～ハト派の矜持～
2016年9月12日	米利上げに怯える株式市場～「ドル高の罠」再び～
2016年9月9日	週末版 (ECB理事会を終えて～注目目はパラメーター修正の「次の論点」へ～)
2016年9月8日	円相場の基礎的需給環境～2016年7月～
2016年9月6日	ECB理事会プレビュー～「お茶を濁す」方法～
2016年9月5日	足許の円安の本質～「4か月前の円安」と同質～
2016年9月2日	週末版
2016年8月30日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向 (2016年7月分)
2016年8月29日	イエレン議長講演を受けて～「短期は強気、長期は弱気」～
2016年8月26日	週末版(ドル高相場の読み方、考え方～何を、どう見ておくべきか～)
2016年8月24日	最新のユーロ相場の状況について
2016年8月23日	黒田日銀総裁インタビューを受けて
2016年8月22日	ECB理事会議事要旨 (7月20～21日開催分)
2016年8月19日	週末版 (円安・円高の正しい評価とは～交易条件、実質所得、ISバランスなどの観点から～)
2016年8月18日	FOMC議事要旨 (7月26～27日開催分) ～自信喪失?～
2016年8月17日	「円買い」ではなく「ドル売り」に主導された円高
2016年8月16日	リスクシナリオとしての世界経済の底打ち機運
2016年8月15日	本邦4～6月期GDP～実質所得環境は改善中～
2016年8月12日	週末版(人民元ショックから1年～「国際金融のトリレンマ」に照らしたおさらい)
2016年8月10日	円相場の基礎的需給環境～2016年上半期～
2016年8月5日	週末版 (総括的検証で問われるべきは「戦術」ではなく「戦略」の妥当性～「失敗の本質」は何か～)
2016年8月4日	イタリア問題Q&A～Italeaveまで至るか否か～
2016年8月3日	今一度確認しておきたい米利上げとドル高の意味
2016年8月2日	欧州銀行に対するストレステスト～残るイタリアへの不安～
2016年8月1日	日銀金融政策決定会合を終えて (7月28～29日開催分)
2016年7月29日	週末版
2016年7月28日	FOMCを終えて (7月26～27日開催分)
2016年7月26日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向 (2016 年6月分)
2016年7月22日	週末版 (ECB理事会を終えて～「嵐」の前の静けさ～)
2016年7月21日	日銀金融政策決定会合プレビュー (7月28～29日開催分)
2016年7月20日	明らかに始めたBrexitの下押し圧力について
2016年7月19日	「空気を読まない」EU政策当局への危機感
2016年7月15日	週末版(ECB理事会プレビュー～現状維持も「次の一手」は近い～)
2016年7月14日	危う過ぎるヘリマネ議論～円の信認を「叩き壊す」政策～
2016年7月13日	ドル/円相場、急騰の解釈～「木」ではなく「森」を見るべき～
2016年7月11日	米6月雇用統計～いよいよ諦観が漂い始めた米利上げ～
2016年7月8日	週末版(円相場の基礎的需給環境について～頭打ちの経常黒字～)
2016年7月7日	FOMC議事要旨～崩れ始めるファイティングポーズ～
2016年7月4日	経験則に学ぶドル/円相場の「波」～簡単には終わらず～
2016年7月1日	週末版 (BrexitにEUの責任はないのか?～ユーロ圏を「監獄」にしないために～)
2016年6月27日	Brexit後のリスク要因再点検～トランプリスクとFRB緩和リスク～ 本邦個人投資家の対外資金フロー動向 (2016 年5月分)
2016年6月24日	週末版
2016年6月23日	TLTRO II プレビュー～6月23日、もう1つの論点～
2016年6月21日	英国のEU離脱 (Brexit) とユーロ相場見通し
2016年6月20日	英議員殺害で思い返されるアンナ・リンド事件
2016年6月17日	週末版 (日銀金融政策決定会合を終えて～「No」と言う勇気と奇襲の「ツケ」～)
2016年6月16日	FOMCを終えて～「利上げの有無」を超えて～
2016年6月15日	英国のEU離脱 (Brexit) を巡るQ&A
2016年6月14日	ドル/円相場、水準感の整理～攻守交代の時～
2016年6月10日	週末版(7月以降、ECBは現状維持を貫けるか～戻らないHICPに苦しめられる公算～)
2016年6月9日	日銀金融政策決定会合プレビュー
2016年6月8日	円相場の基礎的需給環境について
2016年6月7日	イエレンFRB議長講演と米雇用情勢について
2016年6月6日	米5月雇用統計～もはや正常化以前の問題か～
2016年6月3日	週末版(ECB理事会を終えて～2周年を迎えたマイナス金利～)
2016年6月2日	消費増税先送り「悪い円安」論について
2016年6月1日	年内「最後の円安」に備える時か
2016年5月30日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向 (2016 年4月分)
2016年5月27日	週末版(本日のトピック:ECB理事会プレビュー～目玉政策を控えて現状維持～)
2016年5月26日	投機ポジションにおける「ドル買いの正体」
2016年5月25日	米通貨・金融政策の捻じれ～「ドル高の罠」から抜けられず～
2016年5月23日	仙台G7 を終えて～論点変わらず見通しに影響なし～
2016年5月20日	週末版
2016年5月18日	本邦1～3月期GDP～「不都合な結果」とはならず～
2016年5月17日	ECBのバランスシートとユーロ相場の関係などについて
2016年5月16日	消費増税先送り報道と市場への影響などについて
2016年5月13日	週末版(マイナス金利導入から3か月～外的要因に圧倒される状況続く～)
2016年5月12日	円相場の基礎的需給環境について～第1四半期を終えて～
2016年5月11日	伊勢志摩合意に必要なドイツの説得
2016年5月9日	薄れる米雇用統計の影響力～「量」と「質」の捻じれも懸念～
2016年5月6日	週末版(米為替政策報告書と「秩序的」(orderly))について～結局はドル高が辛くなっただけ～)
2016年4月28日	日銀金融政策決定会合～「良い球」を逃した結末は…… 週末版(FOMCを終えて～論点は変わらずドル高懸念～)
2016年4月26日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向 (2016年3月分) 「原油価格上昇・円安」をどう考えるべきか?
2016年4月25日	3週間ぶりの111円台を受けて～想定通りの円安～
2016年4月22日	週末版 (ECB理事会を終えて～「不都合な真実」を黙殺したドラギ総裁～)
2016年4月21日	日銀金融政策決定会合プレビュー～日銀版TLTRO2か～
2016年4月20日	ECB理事会プレビュー～強まる日本化・円化・日銀化～